

2026年(令和8年)5月20日(水曜日)

# 能開大秋田校に感謝状

大館市観光協会

## アメッコ市の神殿制作

大館市観光協会(山城久和会長)は19日、学生が大館アメッコ市の神殿を制作した秋田職業能力開発短期大学校(愛称・東北能開大秋田校)に感謝状と記念品として秋田犬のぬいぐるみを贈った。従来の神殿は老朽化が進み、設置作業に努力がかかっ



ていた。観光協会が同校に制作を依頼し、2024年度に住居環境科の学生が試作。25年度は同科の当時2年生5人が卒業研究に充たる総合制作実習で制作し、1月に神事を

行つて関係者にお披露目された。

.....

感謝状と記念品を贈る山城会長(左から2人目)(東北能開大秋田校)

新しい神殿は軽量化を図つた上、壁を取り外したり、屋根を3分割したりできる仕様で、運搬や設置がしやすいのが特長。2月14、15日のアメッコ市会場に設置され、多くの市民や観光客が参拝した。

山城会長が奥山栄樹校長に感謝状を贈呈。記念品として秋田犬マサルなど二つのぬいぐるみを贈った。マサルは高さ70センチの特大サイズで、学生を指導した中田智大・能力開発准教授が受け取った。

山城会長は「新しい神殿がアメッコ市の長い歴史を支えていく。学生たちの努力の結果が地域の伝統文化の継承に大切な役割を果たし、活躍していくことは喜ばしい」と感謝を伝えた。奥山校長は「今回は地域から良いテーマをいただいた。優秀なスタッフと学生が一丸となって取り組むので、これからもテーマを与えてほしい」と述べた。